

かど 門 しんいちろう 真一郎

日本児童青年精神医学会理事



論壇

愛知県豊川市主婦殺害事件の被告の少年の精神鑑定結果が報道された。診断名はアスペルガー症候群であるが、一般人の人はほとんど聞いたことのない名称であろう。これは広義の自閉症に属する発達障害の一つであり、コミュニケーションや対人関係の持ち方に関する能力障害である。したがって、自閉症の特徴の多くはアスペルガー症候群の場合

オピニオン opinion

合にも共通して認められる。すなわちコミュニケーション、対人関係、想像力の領域の発達に偏りや遅れがある。しかし、アスペルガー症候群の子どもの知能は平均的、あるいは平均以上なので、普通学校に入學し、適切な援助と励ましとがあればよく伸び、高等教育を受け、就労する人も少なくない。また、こ

ど、人の感情や人が心の中で考えていることを想像することが難しい。その結果、周囲の人が共感しにくい言動や、自分勝手と思えるような言動をとることがある。これらがアスペルガー症候群の主な特徴であるが、現実には皆一人ひとり違う。

しかし、適切な教育と支援があれば、対人関係やコミュニケーションの面で力をつけていくことができ、充実した生活を送り、高等教育を受け、就職し、友人をつくることもできる。そのためには、家族や教師をはじめ周囲の人たちがアスペルガー症候群について正しく理解することが

が、アスペルガー症候群なのである。例えば、現行の療育手帳制度は知的障害の子どもの大人のみを対象としているため、知的障害のない自閉症、すなわち高機能自閉症やアスペルガー症候群の人には原則として発行されない。

厚生労働省は児童青年精神科を標榜科名として認可しておらず、文部科学省は大学医学部および医科大学に児童青年精神医学の講座を開設することに消極的である。医学部・医科大学に児童青年精神医学の講座がなく、児童青年精神医学の教授が皆無で、児童青年精神科を看板に掲げることができないという国は、いわゆる先進国の中では日本だけである。この点では、わが国は欧米に半世紀以上の後れをとっている。

アスペルガー症候群に理解を

とはを話す力の発達に遅れがない。しかし、こぼを聞いてその意味を理解することは難しく、話す力と理解する力とのギャップが、人間関係や集団行動においてトラブルを引き起こすことがある。

人の大部分が犯罪とは無縁なということである。それは健常者の大部分が犯罪とは無縁であるのと同様である。むしろ、アスペルガー症候群の子どもは、学校でいじめの標的にされやすく、加害者よりも被害者になることの方が圧倒的に多い。いじめられて情緒不安定になり、その結果攻撃的になることはあり得る。

アスペルガー症候群の子どもは、知的障害がなく、言語使用能力が一見高く見えるために、理解や支援サービスはきわめて乏しい。知的障害の子どもへの支援サービスは、一般に過去数十年間に著しく向上したが、狭義の自閉症の子どものそれは極めて不十分なままである。そしてそれ以上に理解と支援が不備なの

周囲の人々の正しい理解と支援の充実が欠かせない。その実現のため、いまもっとも重要な課題の一つは、児童青年精神科医の養成である。アスペルガー症候群や自閉症をはじめとする発達障害に精通した児童青年精神科医は、家族や教師を支え、そのよき相談相手として重要な役割を担うのであるが、残念なことにな

子どもの心の問題が憂慮されるようになって久しい。児童青年精神科医の養成問題を、これ以上ないがしろにしていてよいはずはない。日本児童青年精神医学会の認定医が全国でまだ百人にも満たない状態では、子どもの心の問題の解決にはほど遠いと言わざるを得ない。

投稿